

令和6年度の報酬改定におきまして、「5領域を含む総合的な支援を提供すること」が基本となりました。

サザンカでは、独自に「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を個別支援計画にも取り入れて決めましたので、サザンカの支援プログラム・支援方針を公表いたします。

1. 大まかな流れ

① アセスメント（担当：児童発達支援管理責任者）

お子様の状況、状態を把握いたします。保護者様への聞き取りから持っているニーズや課題の整理を行います。

② 個別支援計画の作成（担当：児童発達支援管理責任者）

アセスメントで収集した情報やニーズに沿って、ご利用児童1人1人に合わせた支援方針や取り組む課題をまとめさせていただきます。

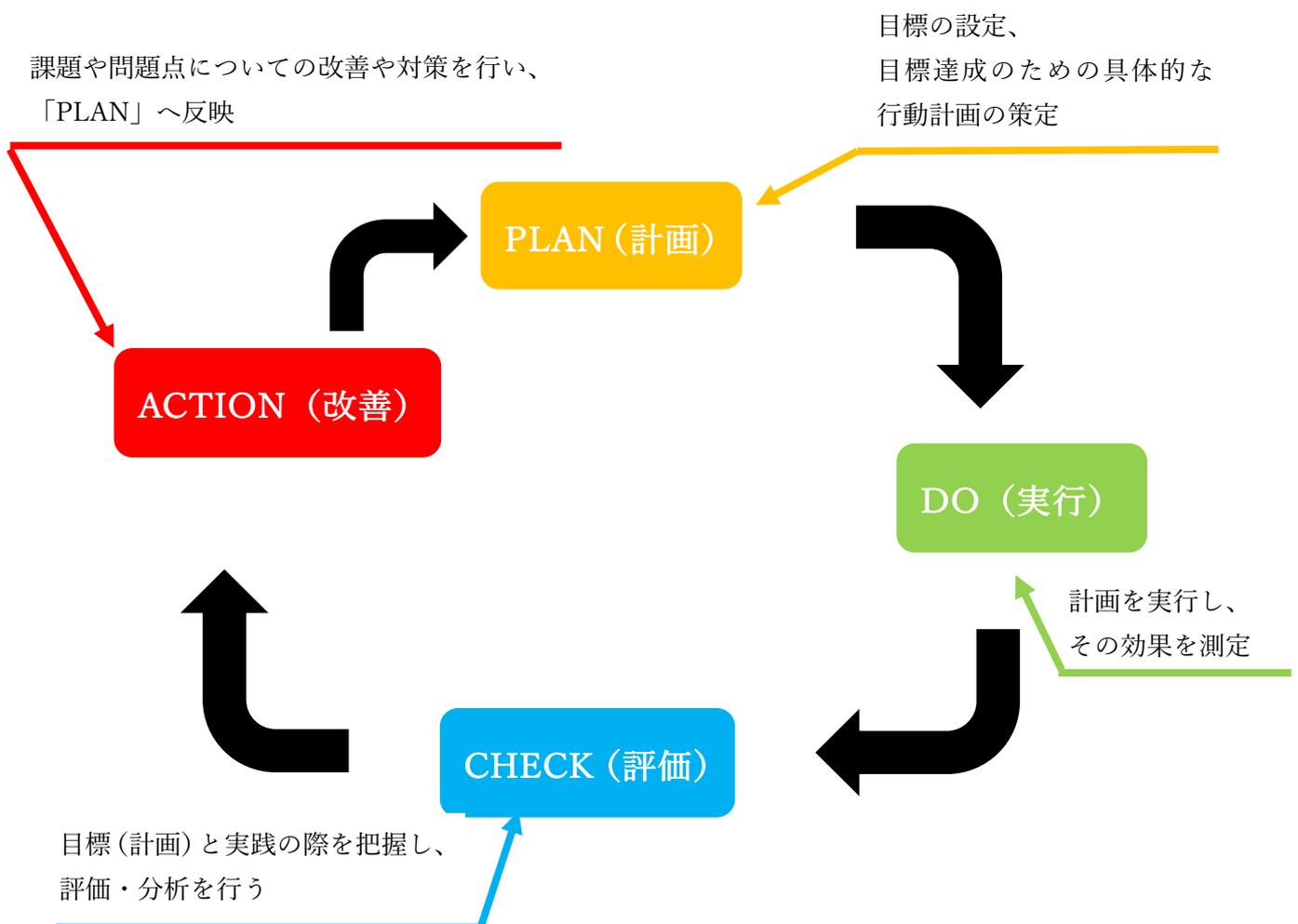
③ 計画同意

完成した個別支援計画を保護者様、ご利用児童様に説明させていただき同意の際は署名・捺印をいただきます。

④ 支援の実施（担当：サザンカ全職員）

同意いただいた個別支援計画に沿って、支援を実施いたします。

「PDCA サイクル」**PLAN（計画）**、**DO（実行）**、**CHECK（評価）**、**ACTION（改善）**の流れを定期的に行います。



(健康・生活)

- ・毎日の検温・手洗い・うがいを実施し、ひとりひとりの健康状態を把握します。
体調不良などの意思の表出が難しい方には、お迎時に保護者様への体調確認、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康管理を行います。
- ・基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。

(言語・コミュニケーション)

- ・簡単な挨拶や会話など、円滑なコミュニケーションを行えるよう支援します。
- ・指差しや身振り、サインなどを活用してコミュニケーションを行えるよう支援します。
- ・絵カードなどのコミュニケーション手段を活用し、環境理解や意思伝達を支援します。

(感覚・運動)

- ・公園遊びやトランポリン、バランスボールを用いて筋力の維持・強化を図ります。
- ・絵の具や粘土等の活動を通し、物質の変化や感覚の認知形成を行います。
- ・保有する五感を感じられるよう、遊びなどを通して支援します。

(認知・行動)

- ・当日の日付・曜日・スケジュールを視覚でわかるように掲示し、概念の習得を図ります。
- ・感覚や認知の活用 視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。

(人間関係・社会性)

- ・個々の遊びから集団遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。
- ・工作やイベント、お散歩などに参加し意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。